

**あの思い出の場を、今と未来のICU生たちにつなぐために**

あの人と一緒にオーディトリウムで観た公演のこと、友人たちと暗くなるまでラウンジで語り合ったこと、卒論の製本に慌てたこと……部室があったり公演の場だったりしたD館族に限らず、多くの同窓生にとって、「D館」は特別な思い出の場であると思います。そんなD館も1958年の竣工から63年、還暦をこえました。近年では、近代建築としての歴史的・文化的な価値が社会的にも評価されていますが、設備や備品の老朽化もあり、以前ほどの賑わいは見られなくなっています。

そこで、今と未来のICU生にとっても大切な学生生活の場であり続けるため、「多目的かつ無目的（＝目的を持たず、空いた時間になんとか訪れても安心して過ごせる場）」という思いのもと、改修工事が進められています。①舞台周りの老朽化と安全性の不安に対応した設備改修、②エレベーター設置などのバリアフリー化、③ラウンジの改修による学生の「居場所」「集う」機能の強化、など。D館に思い出のあるみなさん、ぜひこの取組を見守り、そして応援していきましょう♪

思い出のD館



ベランダ



中庭



オーディトリウム

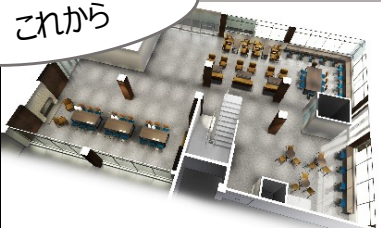


舞台裏



ホワイエ

これから



3つのラウンジ エリアに  
設けたコンセプト



Christianity バイブルクラスを開いた  
デザイナーヴォーリスの自宅をイメージ



International 孤独な人を作らない、  
留学生にも誰にでも居心地のいいスペース



「ディッフェンドルファーの碑」  
本館側の記念碑をライトアップ



アクセスと設備 人や物の移動にやさしいスロープ。エレベーター、多機能トイレ  
(車いすアクセス可、オールジェンダー、いろいろな設備付き) 設置、空調設備導入



上掲イメージ図は、一粒社ヴォーリス建築事務所のご厚意でご提供いただきました。家具内装などを含めて全てコンセプトで、実際の完成図とは異なります。

旧D館のご支援は

**ICU「教育施設の整備 D館東棟修繕募金」**

2023年3月31日まで

寄付のお願いメッセージや  
歴史的建造物としての  
解説などがご覧になれます



[ICU「D館東棟修繕募金」ページ](#)